

七沢療育園便り



第69号

2017年12月発行

神奈川県総合リハビリテーションセンター七沢療育園

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516

電話 046-249-2720

ファックス 046-249-2739

ホームページ <http://www.n-ryoikuen.kanagawa-refab.or.jp/>

メールアドレス ryoikuen@kanagawa-rehab.or.jp

参加しましょうよ。希望ですが



総括主査 吉川匡

年の瀬も押し迫ってまいりました。皆さんはどんな一年だったでしょうか。私といえばただただ忙しい生活に追われ、あっという間の一年でした。楽しい思い出をお伝えできればいいのですが、既に記憶があいまいで思い出せない有り様です。この分で行くと、昨日の夕飯も思い出せなくなっていくのか我ながら心配です。過去の記憶が思い出せないのも、未来志向の希望を書きます。2020年の東京パラリンピックまで1000日を切りました。パラリンピックでは22競技が行われます。残念ながら開催地に神奈川はないようです。しかし、療育園として障害者の夢の祭典にかかわりたいという思いがあります（あくまでも個人的な希望です）。

具体的に言うと、療育園の利用者が聖火ランナーを務めるということです。ランナーになれば一生の記念になります。晴れ舞台でトーチをかざしてもらいたいです。既にランナーは決まっているのでしょうか。応募の方法をご存知の方いましたら、お教えてください。また、開会式にも参加してみたいという思いがあります。パラリンピックを通して障害者への理解が深まり、障害者が住みやすい社会になればいいなと思いますし、特に重度障害者を皆さんに理解して欲しいとも思います。“意思決定支援や合理的配慮”などというキーワードを良く耳にしますが、皆さんに重度障害者を見て知ってもらえる良い機会です。願いは共生社会を築きたい。そのためにこちらから出向くことも大切です。

利用者の皆さんから今年もたくさんの笑顔をいただきました。うれしい限りです。そしてその笑顔を作る手助けが出来ていれば幸せです。来年も笑顔がますます咲く療育園にしたいと思います。今年もありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。それにしてもエンジェルス大谷選手の活躍が楽しみでたまりませんね。

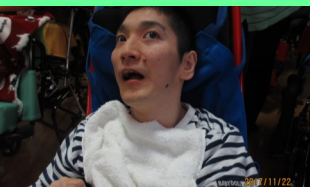
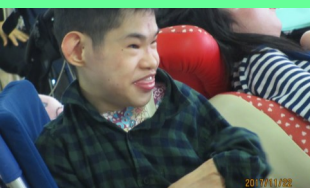
酉



の市 11月の酉の日に行われます。酉の日は12日ごとに巡ってくるので、11月に3度行われる年もあり、1度目は「一の酉」、2度目は「二の酉」、3度目は「三の酉」といいます。「三の酉まである年は火事が多い」といわれ、三の酉の日を防災日として、防災意識をたかめていたようです。2017年は三の酉まであり、一の酉が11月6日、二の酉が11月18日、三の酉は11月30日です。このお祭りは江戸時代から続く行事で、起源は花又村（現在の東京都足立区）の大鷲神社にあるとされ、農民たちが秋の収穫を祝って、鷲大明神に収穫物を奉納したのが始まりと言われ、正月を迎えるための最初の祭りとして定着しました。

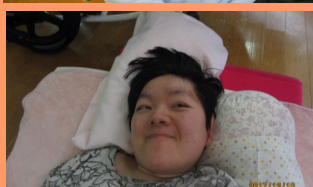
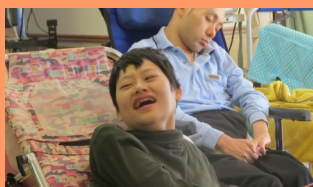
Happy Birthday

11月22日



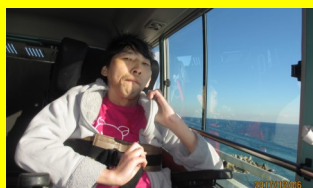
ピアノの調べ

実習生設定活動



芋煮会

ドライブ外出





異動職員からのメッセージ



看護師 西山佳克

11月より新病院の整形外科病棟に異動になりました。一年と満たない短い間でしたが、楽しく働くことが出来ました。職員、利用者、ご家族の皆様、本当にありがとうございました。1月に、療育園に来た時には、利用者の皆さんの事がよくわからず、どうしてよいかわからないことも多く、戸惑うばかりでした。不安になることも多々ありましたが、職員のサポートやご家族からのお声掛けで乗り越えることが出来、感謝しています。いままで、病棟で、重度心身障害の方のケアをしたことはあっても数か月の入院期間で、治療が主のケアで、日常生活をケアしたことはありませんでした。療育園で利用者の皆さんの日常生活を知ることが出来て勉強になりました。それぞれの個性的な表現や、笑顔が忘れられません。イベントも楽しかったです。利用者のみなさん、とっても良い表情をされていました。看護課も支援課もご家族も利用者の方々も本当にすごいと思う療育園でした。異動するのは若干寂しいですが、療育園で学んだことを大切に、病棟でこれからもがんばっていききたいと思います。



看護師 澤田夢可

11月中旬より4B病棟へ異動になりました。看護師になって初めての配属先が療育園にとって、まさに巣立ちの時…！利用者さま並びにご家族の皆様、それに職員の支えにより育ててもらいました。笑って怒って、そして時には泣いて…とても楽しかった3年半でした。療育園の思い出は四季折々のイベントをみんなで楽しんだ印象が強く、春にはお花見をして、夏には花火やプール、秋は芋ほりをして、冬はクリスマスとコタツ！“利用者さんのお家”であることを考えながら日常を楽しむ事はどんなに素晴らしいのか療育園から離れてとても感じました。異動になってしまって寂しいですが病院内でお会いすると思いますので、ヒィヒィ…言っている私を励ましに来てくださいね。



外出ボランティア紹介



五十嵐みゆきさん

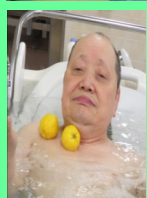
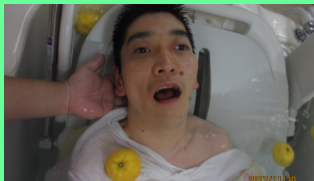
朝、利用者と散歩に行くと空気がひんやりし、冬の足音が聞こえてきそう。七沢の自然に包まれ、静寂な一時を利用者と過ごす時がボランティアをしていてよかったと実感します。園外の外出では、園内で元気な利用者も嬉しさのあまり緊張し、逆に静かになったり、また真剣に利用者の衣類や商品を選ぶ職員の姿にほのぼのとした温かさを感じ、施設では見せない表情をみせてくれます。食事の時も職員や利用者共々楽しそう、私も利用者の食事介助の際、美味しそうに食べてくれると本当にうれしくなります。

質問 外出ボランティアで気をつけなくてはいけない点は何ですか。

やはり利用者の体調管理です。気温の変化には敏感で衣類等で調整します。利用者の体調等には、常に気を配り、体調が優れない様子がみられたらすぐに職員スタッフに報告します。また、利用者には、少しでも散歩を楽しんでもらえるよう、風景の説明や四季折々の出来事など話すように心がけています。



利用者様の家族から柚を頂き、11月30日、12月1日に柚子湯にはいりました。本当は冬至に柚子湯とかぼちゃを食べると風邪をひかないといわれています。この由来はかぼちゃは中国語でなんきん、冬至に、んがつく食べ物を食べると運がつくと信じられ、柚子湯は運をつける前に身体を清める役割をしてきました。んのつく食べ物はその他にもダイコン、人参、れんこん、うどんなどがあるので、いろいろと食べましょう。



Tokyoディズニーランド

11月21日個別外出にてディズニーランドに行ってきました！療育園にボランティアとして来ていただいている黒木さんが、介護タクシー運転のお仕事をされているということで、藁にもすがる思いで（！？）外出に協力していただけないか伺ったところ、快くOKの返事をいただきました！当日は、大分寒かったのですが、晴天に恵まれ、そして何より『☆夢の国☆』のパワーを全身に受けて、1日楽しんでできました♪パーク内は、クリスマス1色！キラキラしたクリスマスの雰囲気、利用者さんはもちろん付き添いの職員も、きょろきょろしては、「すごーい！！」と興奮しきりでした。（笑）黒木さんは、当日パーク内に一緒に入って下さり、いろいろな面でサポートしていただきました。本当に感謝です。今回の外出は黒木さんをはじめとして様々な方にご協力いただいて実現しました。本当にありがとうございました。

1月の予定

- | | |
|-----------|----------|
| 1、2日 祭日入浴 | 3日 特別活動 |
| 4日 仕事始め | 8日 祭日入浴 |
| 9日 理容入浴 | 10日 半日外出 |
| 14日 全体活動 | 16日 美容入浴 |
| 24日 誕生日会 | |

編集後記 12月はクリスマス、大晦日、そして正月と子供心に本当にわくわくする月でした。大人になった今でもそれは続いています。皆様いかがでしょうか？あっという間の一年でした！今年は療育園の仲間が二人なくなりました。さびしい限りです。改めてご冥福をお祈りします。

鳴原